

スの均約17響で三ライ一年との間に金体への12た。を再を郊を支の在者者と「市に市、市

ももある。最大手の広島電鉄（同）は今回のエリアで、路面電車とバスの両方に使える初の共通定期券を検討中だ。利用者側の選択肢を広げる考えから、他社にも方針を伝達し、乗車回数に応じて定期券収入を振り分ける想定でいる。来年の発行を目指す。仮井康裕取締役は「共存共栄で利用の底上げを図る。一方で自社の車両に乗ってもらうため、接客などサービスを磨く競争も生まれる」とみる。東京や京都、福岡など大きな都市は均一運賃制が多い。広島市も86年までは、今回より広い範囲で均一制が敷かれていた。バスの利用が増えれば、均一エリアが広がる可能性もある。

広島消費者協会(同)

電力の小寺洋一執行役員経営企画部門部長が就いた。資本金は2億円で両社が折半出資した。本社は海田基地内に置く。2018年12

広島 太陽光発電所取得を進める



「太陽光発電所の取得を進める」と話すのは建設・土木業の木下組（広島市佐伯区）の田中敏彦社長。子会社の木下エネルギーパーク(同)が9月、和歌山県にある設備を東京の事業者から買い取った。

太陽光は売電単価の下落に加え、大手電力会社の受け入れ容量が減り新設の環境は厳しくなっている。広島県に自前で発電所を設け売電してきたが「時代の流れに対応する」。

太陽光発電所を地域の電源に使う構想も描く。「全国に展開し、次の世代に渡したい」（境信重）

ひとネット



「科学的農業で収量アップ」を提案するのは、日本総務省（市）の高農分

関連会社のファーマロジージャパン（東京）兼務。土壌分析の技術効率的な施肥や栽培のする。「土に適した作気の原因調査も手掛ける。農家の高齢化が進むは広がるとみる。「トップを後押しする。東南アジアなどへの海指す」

1) 月中間決算

ヤスハラケミカル	
6,245	(▲6.6)
128	(▲53.7)
6	(▲6)

円、かっこ内率は1期比増減の实绩、▲はマ

中国新聞リーダーズ倶楽部は、広島県内の有力企業や団体、教育機関の情報発信の目的とした組織であり、地元経済の活性化を目指しています。4月から掲載して一ズ倶楽部通信は今回が最終回です。今後も地域の発展につながる情報を発信し、企画・制作 中国新聞

vol.35

式社  
アー好評  
しままこと  
島誠氏

RORZE ローツェ 株式会社

ベトナム工場 生産増へ拡張

RORZE ROBOTECH CO., LTD. 中村秀春氏  
取締役社長

欠市)は、開発車の走行 半導体ウエハを搬送するロボット